

鎌倉市本庁舎整備方針（素案）に対する意見と市の考え方整理表

はじめに 本庁舎整備方針の目的と策定体制

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
1	28	P1～上部	<ul style="list-style-type: none"> ・「過大な負担を残さない」を前提とするのは疑問あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市公共施設再編計画（平成27年3月策定）（以下「再編計画」という。）に基づき、公共施設の老朽化や更新コスト等の課題を踏まえ、「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない。」ことを前提として取組を進めています。

第1章 本庁舎等の概況と整備面積の算定

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
2	28	P4～上部	<ul style="list-style-type: none"> ・「3つの方策」～もっとフリーに考えるべきで、まとめすぎでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討にあたっては、再編計画で位置付けた、現所在地建替え、現所在地長寿命化、その他の用地への移転方策などをベースにしています。
3	28	P9～上部	<ul style="list-style-type: none"> ・「水道営業所」の賃料のある事、早くやめてほしい。水道代に乗せてるんでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減の視点も含め、本庁舎の集約化を目指していきます。
4	3		<p>このほど広報「かまくら」2・1号により、鎌倉市で本庁舎の再建にむけ真摯に取り組んでおられることを知り、まことに心強くおもいました。</p> <p>昨年の熊本地震で、宇土市庁舎が倒壊し、機能不全におちいったテレビ映像をみて、当市の庁舎が心配になっていました。東日本大震災発生の際にまたま鎌倉の市役所の近くにおいて、職員全員が戸外へ避難されている様子を見たものです。</p> <p>大変重要で喫緊の課題だと痛感いたします。</p> <p>財政的な制約があると思いますが、民間活用などに活路を見出すべきと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・想定される災害への対策や災害時の防災拠点機能などの観点から、「防災・減災」の評価軸を定め、評価を行いました。 ・なお、新たな庁舎の整備までの間、機能維持ができるよう

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
5	37	p. 12 p. 13	津波や水害などについては従来の想定に捉われずに実際の災害が発生した時の万一の時の拠点に市本庁舎が対応できるような対策を講じるように検討願います。 建物の耐震性についてもこれまでの想定地震にのみ耐える設計ではなく万一も考慮して十分な耐震性を持った建物としていただき万一の拠点に市本庁舎が対応できるように検討願います。	防災対策に努めていきます。 (参考) 国土交通省が定めた官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成25年3月改定）では「官庁施設の位置は、地震及び津波による災害時においても、人命・財産の安全が十分に確保されるように選定するものとする。」「災害応急対策活動に必要な官庁施設の位置は、ライフライン及び前面道路の機能障害が発生せず、又は、早期復旧が可能なよう選定するものとする。」という基準を設けています。
6	25	P12	ハザードマップによると、現在の本庁舎敷地は0.5mの浸水地域と想定されるが、0.5m～1.2m程度の対策であるが、電気室等の対策を採れば移転するほどの問題ではないのではないか。	
7	28	P12～下部	・「周囲から孤立」～旧市内は見放される風ですか！！	
8	31	その他	津波対策は100年周期程度の地震と1000年周期程度の地震とを分けて考えるべき。後者は上階に避難する程度で良いのではないかと。一方で現在の本庁舎は電源設備が水没することが分かっているながら放置するなど全く理解できない。即刻対策するべきではないか。	
9	37	p. 12	神奈川県想定明応(1495年)型地震による浸水予測を基に「津波に対する脆弱性」を検討されていますがこの想定を活用する根拠をお示し願います。 元禄関東大震災(1703年)では現在建長寺の筋向いにある円応寺がその当時由比ガ浜にあって壊滅的被害を受けて現在地に移った経緯があります。川を遡上して深沢地区を大きな津波が襲ったなどの痕跡はないのでしょうか？万が一を考えて検証願います。	・津波防災については、県から示されたこれまでの津波浸水想定のうち、最大浸水面積となるケースを想定しています。 ・今後の移転先の選定にあたっては、引き続き災害の観点をもって検討を進めます。
10	37	p. 13	以下は本庁舎整備とは関連ありませんが敢えてコメントします。 この頁最下段に「非常用発電機などのための燃料保管庫の設置等も課題」とあります。 阪神淡路大震災の時には非常用発電機の操作方法が分からずに燃料も十分あるのに活用できなかった事例もあったと聞き及んでいますので、災害訓練も課題かと考えます。	・引き続き発生時の対応能力向上に努めていきます。
11	28	P16～下部	・市職員の数が当市は多いのでは！！ ※各市の市民数と考えるとやはり17万人で947人は多い。だから、1人当たり面積小さい。	・職員数については、本庁舎に勤務する正規職員だけでなく、非常勤嘱託職員等を含む全ての職員の座席数を計上しているものです。
12	30	p. 16	足りない面積について、2階の議場、議員室、会議室機能を近隣の商工会、分庁舎、生涯学習センターを活用することで解決しないでしょうか？ 本件ですが計画全体を小規模なものに変更することを求めます。日本全体で人口減少が進む中、	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			100億円を超える歳出は税の圧迫を生み、次の世代の負担となり得ます。過去に起きた北海道夕張市の財政破綻から学び、普段使うことが少ない施設は周辺の施設で代替可能なものを活用し、今ある場所で市民の知恵を出し合い、コンパクトにコストを下げた本庁舎建て替えを求めます。100億円を超える大規模な改修や移転を実施する場合は、投資に対するリターンを具体的な金額で市民に説明いただけると嬉しいです。よろしくお願いします。 参照：夕張市財政破綻について.. https://matome.naver.jp/odai/2147049300689397001	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年度以降、職員数適正化計画に基づき、業務内容に応じて正規職員が担うべき業務、非常勤嘱託職員等に担わせるべき業務についての見直しを進めており、正規職員の数は減少していますが、新たな制度創設による業務対応や、行政需要の増大等に伴い、座席数は増加しており、狭あいな状況を招いているところです。 今後、本庁舎整備に向けた取組のなかで、最適な庁舎面積を定めていきます。
13	31	p. 18	必要な床面積を考える場合、将来の人口減少をふまえると、当初はある程度我慢して必要最小限度を割り出すべき。	
14	37	p. 56	鎌倉市の場合、移転先新築の延べ面積が25,000～30,000㎡程度というのはいさぎよいと感じます。将来の人口減少を考慮に入れると20,000～25,000㎡に抑えるべきなのではないでしょうか。	
15	42	p. 7	S45の鎌倉市人口は14万でS44年職員600人、現在の鎌倉市人口17万なら職員人口は700～800人で十分だと思う。職員が多すぎる。申し訳ないけど、早期退職制度を設けるべきだ。それか何らかの基準を設けて課長職以上の給与を減らすべきだと思う。 「業務の非効率が見られる」とあるが、その原因はなにか？ ITスキル、クラウド化、やそのほかを駆使しても解決できないような事情があるのだろうか。	
16	37	p. 19	図表1-7内で、「コンビニエンスストア等での証明書発行」とありますがコンビニエンスストア店員の守秘義務の確保は大丈夫なのではないでしょうか？このような合理化には疑問を感じますが。	
				<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストアでの証明書の発行は、本庁舎整備の検討とは別に検討を進めていますが、設置するキオスク端末を自ら操作して取得できるため、個人情報店員の目に触れることはありません。また、専用回線の利用等により、個人情報漏えい防止の対策を施します。

第2章 整備パターンの評価について

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
17	42	p. 46	図表2-17 深沢地域の都市マスタープランに新駅構想を視野に入れとあるが、県も藤沢も考えてもいない架空の構想を根拠に鎌倉市が計画を立てるのは不可能である。絵にかいた餅に過ぎない。	・鎌倉市都市マスタープラン（平成27年9月策定）を引用しています。
18	31	p. 49	図表2-20 公共施設の再編対象施設等の概要 野村研究所の跡地の整備可能規模が16万平米とあるが、それは敷地全体のことでないか。建物建設可能な部分はそんなにない気がする。当て馬の候補地であっても同じ基準で評価すべき。	・敷地面積と指定容積率による単純試算の結果を掲載しています。

第3章 本庁舎の整備方針

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
19	9		<p>深沢移転反対です。</p> <p>鎌倉市役所が鎌倉地域から深沢に移転したら、鎌倉市と名乗ることに違和感があるからです。防災や行政サービスの向上を考えても、市庁舎の鎌倉地域以外移転はありえません。法令を変えて現在地で防災に強い高い建物をつくるべきです。建物の制限で鎌倉地域の住民はただでさえ不便を被っています。鎌倉地域が行政の中心を失えば、ますます観光客や観光客相手店のための街になってしまいます。</p> <p>また鎌倉市役所の移転という重要な問題は住民投票にするべきレベルです。最後に鎌倉広報にわかりやすい説明が書いてありません。祖母に深沢に市役所移転するって話があるよと話したところ、「まさか、いまのところに建て替えるんでしょ！」と言っていて知りませんでした。新聞に一通り目を通す祖母が知らないのですから、知らない人が多いと思います。具体的な移転場所を詳しく記載しないで移転を決定しようという姿勢にみえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地は、鎌倉地域の中心に位置し、市民の方々に親しまれている場所であり、その場所性やシンボル性は大変重要なものと認識しているところです。 ・一方で、「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で総合的に評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針に至ったところです。 ・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用な
20	11		<p>1. 案②-1 現在地長寿命化+現在敷地内別棟新築 案を推奨します。 別敷地に移転新築することに反対します 最大理由： 1. 現在建物の50年間の 立地位置の歴史性 シンボル性の継続です。 別敷地に移転したら その歴史性 シンボル性は 無くなってしまいます。 別敷地に新庁舎を建設した市町村の失敗事例がたくさんあります。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>鎌倉は歴史の街です、ほかの市とは違います。歴史 過去の時間を大切に継続しなければならぬ街です、そういう意義のある街です。ほかの街とは全く違います。</p> <p>2. このまとめ方が、移転新築ありき で最初から誘導しているやり方がフェアではありません。案②-1 について デメリットばかり書いてもっと別のいい視点があるのにそれを取って書いていません。</p> <p>案②-1 の詳細提案</p> <p>1. 現在4階建て庁舎を耐震補強する</p> <p>2. 現在駐車場の敷地及び付属棟の敷地に3階建ての建物を建てる この屋上には 外部型電気機器と空調衛生機械機器を配置する。 駐車場は極力台数を減らし 現在の4階建て庁舎前に地上型器械駐車場建物を作り外観も古都にふさわしいデザインとする。</p> <p>3. 屋上に設置した電気機器 空調機器は この新築する建物用ばかりではなく既存4階建て庁舎用の設備機器も兼ねる容量とする。屋上の目隠し壁をスリット空けて作れば高さに算入されず ことにふさわしい外観の目隠し壁をデザインでき 十分機械類の高さが確保でき 既存庁舎分までの機器類が高い高さまで設置できる。</p> <p>4. 防災拠点の施設はこの新設されるスペースの2階又は3階に設置すれば浸水しない。</p> <p>5. 埋蔵文化財の期間は当然長くなるろうときちんと調べればいいだけのこと。</p> <p>6. きちんと工事用フェンスを作り管理誘導すれば 工事中といえども何の危険もない。都内の工事現場に比べれば十分に余裕がある現場です。</p> <p>7. 既存4階建て建物を そんなに簡単に解体しないで 改修すれば立派によみがえります。新築するよりも立派になります。要はデザインする建築家の技量にかかります。移転先で新築しても必ずしも市民にとって便利になった 良くなったとはなりません。</p> <p>8. 仮庁舎など案②-1 は不要です。仮庁舎ありません。則 別棟3階建て新築です。きちんと防潮版設置し 防潮鉄扉を設置して新築別棟の地下の設置も可能です。地下の用途にふさわしい用途に使えばいいですが その用途がないなら地下は作らないほうが建設費は少なくできます。</p> <p>9. 新築別棟の外壁には 外壁緑化を植えれば 平面的な土に植栽スペースがなくても十分緑化は達成でき鎌倉らしい緑の建物が出現します。パリにできているジャン ヌーベル設計の現代美術館(ケ・ブランリ美術館)の植栽外壁を参考にしてみてください。</p> <p>10. 新たな土地取得費用も掛からず 一番総合的な経費が安くなるはずです。</p> <p>4. もちろん風致地区など緩和できるなら その案 参考B案 を推奨します。 この案がベストですけど 風致緩和などできないなら 基準法に従った高さなどでこの案②-1 を作ればいいです。</p>	<p>どの観点も含め、移転となった場合の移転先と併せて現在地の新たなあり方も検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転となった場合の移転先については、全市的な視点から適地を定めていきます。 ・今後、本庁舎整備に向けた基本構想、基本計画の策定などの取組のなかで、さらなる精査を行うとともに整備手法等についても検討を進めていきます。 ・なお、本庁舎の整備や現在地の利活用については、引き続き市民の方々の意見を聴きながら進めていきます。

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>5. 案②-1で 広く設計コンペを行えば 素晴らしいあつというアイデアが集まります。専門の建築家のアイデアを利用すべきです。決してこの素案のような 事務的な ○ △ × などでもやっても 常識を超える企画案は出てきません。安易に 別敷地に新築移転に 逃げているように 思えて仕方ありません。もっと 挑戦すべきです。</p> <p>6. 学習C等機能の集約化は全く不要です。現状の生涯学習センター、コンサートホール、図書館、福祉センターのままで充分すぎる程です。単に移転新築案だと現在の市庁舎の敷地が残ってしまうから、後づけの不要な事をつけ足しているに過ぎません。ナンセンスというのはこういう事です。</p> <p>7. 建ぺい率を守る為 小学校や隣接する市の土地を市庁舎用の敷地に法務局に届け出て合筆すれば良い。実質上のその土地の使い方は小学校等のグラウンドに使わせてあげれば良い。運用次第です。</p>	(前ページからの続き)
21	17		<p>神奈川新聞によると鎌倉市本庁舎の整備方針についての方策が記載されており、3パターンの工事内容が示されていました。</p> <p>私は本庁舎の場所としては、現在の位置が最適と考えます。</p> <p>用途地域、第三種風致地区及び文化財包蔵地等を考えると市役所機能が十分発揮できる建物を建築するためには、用途地域等の見直しも含めた地区計画による整備が必要と考えます。</p> <p>容積率や高さを確保した大震災や津波等の災害に十分耐えうる本庁舎整備を期待します。</p> <p>深沢地域整備事業用地や野村総合研究所跡地は、別の用途での使用が良いと思います。</p>	
22	20		<p>現在、鎌倉市で本庁舎整備（建て替え、移転）を検討されていますが、市民の一人としては、現在の場所での建て替え以外考えられません</p> <p>多くの市民がそう思うと思います</p> <p>ご参考まで</p>	
23	22		<p>鎌倉市本庁舎整備方針を拝見しましたが、豊洲問題よろしく、その移転ありきの方針に基づいた策定委員会、一部の市民対話により作られた内容に反対し、現在地での耐震、建て替えなど、現在の市役所所在地での継続を強く希望します。</p> <p>鎌倉市の市役所であり、鎌倉駅裏駅からすぐの立地、駅のホームからも見え、古くからの鎌倉市民にとっても長年慣れ親しんだ最高の立地条件にあります。</p> <p>J Rの駅からすぐ、市の役所は市の中心地、鎌倉地区にあるべきです。</p> <p>何故、長年市民が慣れ親しんだ便利な役所を、わざわざ移転する必要があるのか？</p> <p>耐震、老朽化対策には仮庁舎、整備を考えると移転の方が安上がりとの指摘は、これから長く使う市民の利便性、市庁舎としての存在意義を無視した意見です。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>また老朽化、耐震化のための建て替え論から、複合施設の統合・建設へ話が大きくなっており、そのような大規模な編成を行うこと自体が必要なのかがそもそも疑問です。複合施設の建設と市役所の建て替えは別に議論する事ではないでしょうか。一時の費用削減のために恒久的な施設の郊外への移転は、近年の大学移転でも見られたように、長い目で見た場合、大きな負の側面が出てきます。</p> <p>老朽化・現在地での建て替え実施の必要経費に市民は反対致しません。</p> <p>津波、防災の面からの移転推進は、震災以降、市民の反対の出そうな再開発、取り壊しの際に必ず「安全」「津波対策」「防災のため」といった枕詞で強行する事案が横行しています。北鎌倉の緑の洞門の問題も同じです。市の職員、市長、議員、地権者、施工業者、誰かが得をするのでしょうか。</p> <p>本当に津波対策として、今の立地が市庁舎の所在地として問題があるならば、なぜ鎌倉警察署はわざわざ海の近くに移転したのでしょうか？警察本署こそ、災害時に緊急の出動が必要なのに、借地の問題があるとはいえ、わざわざ駅前の便利な場所から海の近くに移転しました。警察署は津波に強い建物にしたから問題ないという事ならば、市庁舎も現在地で耐震、津波対策を行い有事の際に市の中心地で鎌倉市民を見守るのが当然の事です。</p> <p>津波で危ないから今の場所は危険、というならば、第一小学校、御成小学校、体育館、子供のいる市の施設は全て海側から移転するべきではないでしょうか？</p> <p>しかしそれは、生活のためにもいつ来るかわからない災害のために生活を犠牲にするわけにはいかない、だから今の場所で利便性を確保しつつ対策をしっかりとる。</p> <p>それでいいのではないですか？</p> <p>市民でもない学識経験者という、実際の生活上の利便性や市民の思い入れなどを考慮できない立場、費用と机上の利便性だけで結論を出す策定委員会をわざわざ結成し、移転ありきの最もらしい意見書を提出し、市役所を利用する機会がほとんどない、知識のない、高校生や一部の大学を入れて未来志向という名の移転ありきの新構想を市民対話としてまとめさせる。縁もゆかりもない土地の市庁舎のモデルケースが都合よく取り入れられています。</p> <p>あまりにも乱暴な素案です。市民の税金で存在する市庁舎の今後は市民から広く意見を求めるべき。しかし、多くの市民は日常の生活に追われ、市役所での話し合いを行うような市民対話などには通常は参加する余裕はありません。役所の方針に沿った話し合いを出来る、暇と余裕のある人間だけを集めて方針を出す。市民対話とは言えません。1000人程度の無作為抽出のアンケートなど市民の意見抽出とは言えません。どんな家庭も最低数カ月にも一度でも市からの郵便物があります。そこで全市民にアンケートを同封するなり、広く市庁舎問題を知ってもらえる事もできたはずです。</p> <p>私の家族を含め、周辺の市民は皆市庁舎が移転するかもしれない問題を知りませんでした。</p>	(前ページからの続き)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>そして、今回の素案に皆驚き、反対しています。</p> <p>素案では市民のアンケートや意見公募など限られた人へのアピールを行っていた様子が見えますが、明らかに、形ばかりの市民参加の決定として市庁舎を移転しようとしていたことに怒りを覚えます。</p> <p>どうしても市役所を建て替え、複合施設も作らなければならないならば、例えば深沢に仮庁舎を作る→鎌倉市役所の現在地に建て替え又は補強工事→深沢仮庁舎は建物をそのまま活かして市民複合施設にリニューアル。などの方法も取れるはずです。</p> <p>最後に、市は市民のためにあるべきであり、行き過ぎた開発や大規模な施設の建設を多くの市民は望んでいません。</p> <p>市庁舎の老朽化は誰もが認めるところです。建て替えや耐震化工事へは誰も反対しないでしょう。しかし移転となれば話は別です。</p> <p>特に市長にはしっかりした鎌倉市に住み続ける市民の目線を持ってほしいと思います。</p>	(前ページからの続き)
24	24		<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎は老朽化が激しいので立替えするのはよい。 場所は現在地、鎌倉市の中心にあるべき（文化・情報の発信） 深沢ではただの行政オフィス、あまりにも魅力がない コンパクトな庁舎をめざしコストの軽減、50億で出来る建物を考えてほしい（3階建て木造、景観配慮） 御成小学校との連携（土日の校庭・教室の活用、イベント・ワークショップ 例、観光客を教室で鎌倉彫体験） ・災害本部と議会を野村総研跡地に移転、鎌倉市の最大避難場所を確保する。 由比ヶ浜の体育館を移転、防災備品・避難空間を確保 ・各支所の機能見直し（市民の利用しやすいサービスの充実） ネット社会において中央集約は時代に逆行、サテライトオフィスこそ現在のありかた、市民目線で考えてほしい。 	
25	31	総論	<p>旧市内在住の者としては市役所は旧市内にあってほしい。</p> <p>（理由）住民票などの窓口は支所でもかまわないが、担当課に相談するとか、議会関係などは支所では無理。TV 電話等の ICT 技術導入などである程度は利便性を確保することも可能な時代だと思うが資料では全く触れられていない。</p> <p>ところで、鎌倉の政治の中心は鎌倉幕府よりずっと以前の奈良時代から旧鎌倉地区にあった。この資料のように本庁舎を旧市内以外に移すことは 1500 年の歴史上初めてということになる。そういうだいそれたことを軽々に決めるべきではない。代替地がないというのが御成小学校があるではないか。現在の本庁舎は諏訪池を埋めて駐車場をつくり、諏訪神社を遷座した。実に大それたことをしたものだ。先人も苦勞している。津波の問題については「その他」の項を参照。</p>	

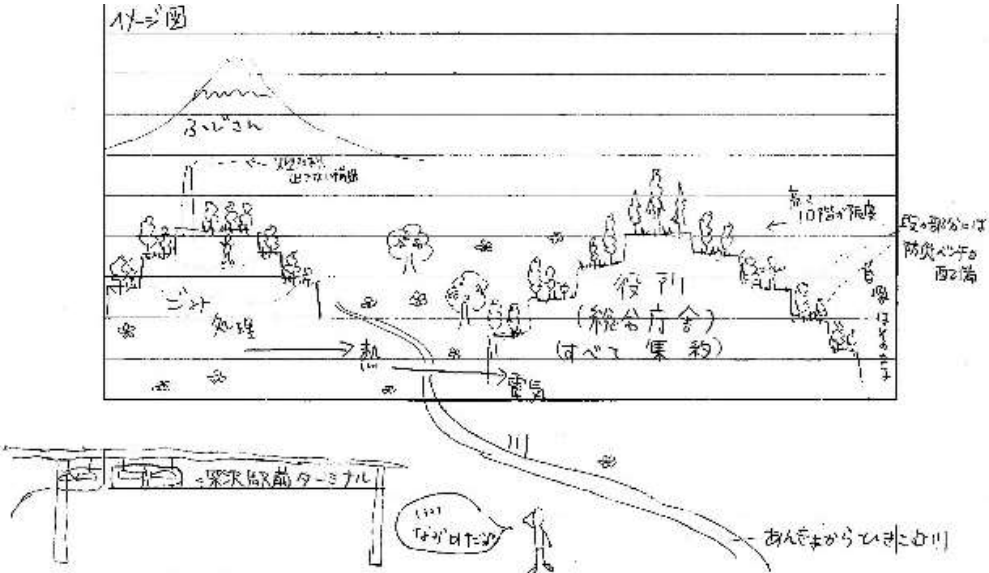
整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
26	40		鎌倉駅近くにある利便性がとても高く、交通の便も良く、観光客に対するサービスも考えて、今の場所から移転しないで欲しい。 移転は反対です。	(前ページからの続き)
27	41		鎌倉市役所は、周囲の環境も良く、立地良くて現住所にあるのが鎌倉市役所としてはふさわしいと思う。移転はしないで欲しい。	
28	44		市役所の移転には反対です。現在地での建て替えに対する検証が不十分である様に感じます。仮庁舎分のコスト増を考慮しても、庁舎が市民の永く利用する施設であることを考えれば建て替えを否定する根拠とはならないと思います。又、移転候補地の深沢は、交通の便が悪だけでなく、周辺の道路も狭く、交通の難所です。各種相談で来所する高齢者や、乳幼児を連れのお母さん方の安全を考えても、現在地に勝る立地はないと思います。 市民からの意見を聞いての結果という、今回の市長の提言ですが、周囲の住民に聞いても、今回、初めて知った人や、現在でも何も知らない人もいます。 選挙の際などで、広く広報し、市民の賛否を問うべきです。 鎌倉御用邸跡地という歴史のある現在地こそ、市のシンボルである市庁舎の立地として相応しいと思います。	
29	45		<ul style="list-style-type: none"> ・市役所は市のシンボルなので今の場所で建替えるべき。大船地区もあり、深沢は市のシンボルとならない ・障害者、老人も多く、アクセスの便利な場所がよい。深沢地区はアクセス悪く、交通渋滞が必発 ・武田薬品中央研究所は移転で今の1/3に縮小される ・市役所は市民の為、今の場所が最高 ・この場所に移転した経歴もある 	
30	46	p. 29 前後	大変細かい分析をされておりますが、29頁基本的にB案の考え方を支持します。鎌倉地域にある現在の本庁舎の長寿化を図り、学習C等の再編に必要な機能を追加、災害防災上不可欠な機能や部門、議会等を備えた庁舎を別敷地（災害防災上に最適な立地）に移転新築する。使える物は最大限利用し、新築建物も最小にして必要なものを備える考え方で検討願いたい。民間店舗等と行政施設の複合化の例は2～30年前に他の多くの行政が実施したが、良い結果になっていない。 大きな施設は今やどこも持て余し気味、中身の無い空間ばかりが立派ではずかしい。 以上よろしくお祈いします。	
31	48		移転案には、反対です。 現在地は、駅から近く、病院、学校、銀行等の生活の基盤上で必須なものにも近く、最も利便性に優れている場所だと思います。	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			候補地への移転は、交通の便も悪く、高齢化が進むであろうこれからの市民に負担を強いると思います。 現在地での、建替か、長寿命化でお願い致します。	(前ページからの続き)
32	49	全て	現在の御成町のまま市役所は移動しないでほしいと思います。深沢に新しく作る計画もあるようですが、新駅（JR）をつくるのが前提となっていて、まさに公共施設再編の理由となっている 税収の問題から考えると、矛盾していると思います。 村岡新駅にお金をかけるよりも1つ1つの行政センターの整備（耐震や市民が利用しやすい施設として）にお金をかけることを望みます。大きな箱物よりも市民が今ある施設を使いやすくするように考えてください。	
33	1	p. 46～ p. 51	移転の場合の候補地について。 十分な土地の確保ができるかという問題はあるものの、（1）モノレールのバリアフリー化も進み利用が便利になると想定されること、（2）各路線の集約地であること、また（3）大船小袋谷跨線橋が開通しバスや車でのアクセスも改善されるという観点から、大船駅周辺が妥当だと考えられる。 セコムホームライフから寄進された岡本2丁目の土地利用、大船駅周辺の再開発と合わせて、複合的な観点から都市機能を改善できると期待できる。 （ただし、腰越・七里ヶ浜周辺の江ノ電沿線地域では、市役所へのアクセスが困難になることから、近隣に支所の建設などの対策も合わせて検討すべき。） 野村総合研究所跡地や深沢再開発地域のように、「土地ありき」の考え方で決めてしまうと、都市計画の大幅な見直しや交通のアクセスなどの面で検討課題が増え、いたずらに時間がかかってしまうリスクがあるように考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災・減災」、「機能・性能」、「まちづくり」、「時間・コスト」の観点で評価・検討した総合的な結果として、防災拠点となる本庁舎の機能は移転する方針に至ったところです。 ・現在地はポテンシャルが高く本庁舎以外の多様な用途での活用による新たな価値の創出も期待できることから、防災的機能、市民利用機能などを配置することに併せて、公共施設の再編や公的不動産の利活用などの観点も含め、移転となった場合の移転先と併せて現在地の新たなあり方も検討していきます。 ・移転となった場合の移転先については、全市的な視点から適地を定めていきます。 ・今後、本庁舎整備に向けた基本構想、基本計画の策定などの取組のなかで、さらなる精査を行うとともに整備手法等につい
34	2		私は下記観点より案①-2と案③の改善案が良いと思います。 1. 本庁舎は鎌倉市の要であり、災害に耐えるものでなければいけない。 2. また、中枢部門は分散しては非効率、集中すべし。ただし、場所のみならず職員の意識も縦割り組織に横串（プロジェクト・チーム等）を入れやすいように。 3 現在地には支所・学習センター・中央図書館・福祉センターの他、出来れば1階は民間より商業施設を勧誘すべき。また、それぞれの跡地は、売却または定期借家で賃貸すべき。 4. 移転先候補は「JR跡地」が良い。 要は、若い世代に出来るだけ借金等の負債を残さず立て直すべきだと思います。また、現在地は”これぞ鎌倉””さすが鎌倉”と言われるものを作ってほしい。さらに、新庁舎には市民や会社、団体より寄付を募り名前が残るようメモリアル碑に刻み、後世まで残るようにすれば良い。	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>1月27日送付した意見の追伸です。 私は前回、市役所をJR跡地へ建築した方が良いと述べました。 その理由を追加致します。 それは、市の主要交通機関のモノレールの存続・維持・活用の観点からです。 モノレール沿線には多くの住人がいます。また、市外から江ノ島方面に行く最短交通機関でもあります。 これがなくなれば、公共交通機関はバスと江ノ電しかありません。 自動車の渋滞はもっとひどくなるのは明白です。 モノレールの営業状況が厳しいと聞いており、一民間企業の問題ではないと思います。 市役所へのアクセスとして活用することは、沿線の人のみならず「湘南」へ来てくれる人にも良いと考えます。</p>	<p>でも検討を進めていきます。 ・なお、本庁舎の整備や現在地の利活用については、引き続き市民の方々の意見を聴きながら進めていきます。</p>
35	4		<p>一市民として希望的発想でご意見させていただきます。 現市庁舎は老朽化が進み、今後建て直しか移転建設するか・・・との事。 先ず、建て直しの場合は仮市庁舎が必要であるし、費用・場所の問題等を考えると移転が良いと考えます。 移転先においては、新聞紙上でありましたが、今後の深沢JR跡地が良いのではないかと思います。新たな鎌倉の町づくりに重要かつ新鮮な物になるかと思われます。野村研究所跡地についても候補の一つとされておりましたが行く足の問題もありますし、野村跡地は旧鎌倉地域からのハイキングコースにも成っておりますので、そういったものを生かせる形にして欲しい！！ 例えば私が子供の頃、坂ノ下・材木座には塩湯と言う「日帰り温泉」がありお年寄り・子供の休日の楽しみ場所がありました。その舞台で祖父が唄と踊りで楽しむ所を見ていた覚えがあります。しかし他市にはその「日帰り温泉」が多々ありますが現鎌倉には銭湯さえ無い状況です。そういった形の市民が楽しめる会場を考えて欲しい！！ あくまで建設規定・金銭的に考えたものではありません！ これからの鎌倉に在ったら良いという思いで投書させていただきました。</p>	
36	5		<p>市役所が建て替えの時期が来ていることは、明らかです。2月1日の読売新聞神奈川のページに書かれていましたように、建て替えるよりも移転の方がコストが低いことも解りました。移転に賛成です。市民は、各地域の行政センターで所要を済ませることができるので、あまり本庁へ行く必要はありません。ですから、不便な場所でもよいのです。野村総研跡地などはいかがでしょう。鎌倉ならではの場所です。シャトルバスを運行していただいで。</p>	
37	6		<p>65ページにわたる素案全てを読みました。 現在地に建て直す案は必要なんでしょうか？</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>津波のリスク、風致地区としての制限、埋蔵文化財の観点など現在地に建て直すことに意義があるとは思えません。</p> <p>過去に、東京都庁が丸の内に建て直すか？新宿移転か？もめたときもコストを見れば新宿移転のほうが安くすむ結論でした。</p> <p>市役所は旧鎌倉地区に置かなければならない不文律でもあるのでしょうか？</p> <p>旧鎌倉地区の他への移転を前提に話を進めるべきと考えます。</p> <p>メリット・デメリットを長々と書かれていましたが、同じ内容が散見され何を伝えたいのか？よくわかりませんでした。</p> <p>もっと、広い意見募集をして市としては市民からの意見からこのような案をいただき策定しました。という流れで十分ではないでしょうか？</p> <p>私もワークショップに参加した一員として市庁舎を立て直す・移転したらこれだけの費用がかかります。と言うことだけではなく、深沢地区に建てたなら、深沢行政センターを立て直す必要がなくなり、売却した費用で、御成町の庁舎跡地に旧鎌倉地区向けの行政センターを作りなおし、中央図書館などの集約化も図ります。</p> <p>市民サービスの低下は最小限になります。</p> <p>というような、総合的なプランを提示できないもののでしょうか？</p> <p>また、縦割り行政からか？小学校の統廃合などを絡めたプランの提示はないようですが、例えば、富士塚小学校と深沢小学校を統廃合し、富士塚小学校に新庁舎を建てる。</p> <p>バリアフリー化した湘南町屋駅から高台にある新庁舎へのアクセス、東海道線新駅にもアクセス可能な町屋に建てるなどプランがあると思います。</p> <p>あるいは、新ゴミ焼却場建設でもめている山崎の浄化センターに新ゴミ焼却場と併設することで、地域の活性化を図る提案を地元の人に提示してゴミ焼却場の安全性を強調し建設への理解を求め、ゴミ焼却場で作られた電気で市庁舎の光熱費をまかなうハイブリッド市庁舎山崎に作ることで、玉縄の行政センター大船の行政センターを廃止し売却することで、鎌倉地域に行政センターを作る。</p> <p>万一の災害時でもゴミの発電で市役所が災害対応の拠点になりうるなど、市役所の建て替え・移転という視点だけではなく複合的な計画案を募集すべきではないでしょうか？</p>	(前ページからの続き)
38	7		<p>現在の市役所地に象徴としての市役所？を残して主機能を野村跡地か深沢地区等に移転することに賛成します。</p> <p>現在地で一般市民のサービス機能+デジタル技術を駆使して主機能がある庁舎と直接やり取りできる等ただの移転ではない工夫が欲しいです。</p> <p>そして長年あった市役所に愛着も誇りもあります。そのような市民の気持ちも大切に考えて欲しいと思います。それが「象徴としての市役所」です。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			矢張り旧鎌倉市内にあって欲しいのが正直な気持ちです。現在地は主機能が抜ける分を活かして民間活力も利用して市民にとっても親しまれるでもお金も生む施設に生まれ変わったらいいいです。良い先例として全国に自慢できる施設になるよう頑張らしましょう 新しいことに積極的に取り組む行政を応援します。	(前ページからの続き)
39	8		1. 深沢地区への移転、新庁舎新築に賛成 2. その場合、現庁舎敷地の公共施設としての再利用でなく、大半を売却するか等価交換し、マンションもしくは商業施設として、恒久的に収入源となる方策を講ずべきと考えます。現庁舎跡地が空いたから新たな公共施設をとという考えでは早晩赤字体質が継続すると思われま	
40	10		以下の提案をのべます。 1. 134号線沿い、坂ノ下から稲村ヶ崎方面(パークホテルの先)の右側に広大な空き地があるので、そこに25階高層ビルを建てる。 2. このビルは津波の避難先にする。(25階の全ての階は緊急時は避難民の一時的避難場所になるようにある種のスペースと物資を確保しておく。) 3. はじめの5階は市役所 4. 次の5階はホテル 5. 次の5階は賃貸型公団住宅 6. 次の5階は商業用スペース(飲食店やショッピング) 7. 最後の5階は市民会館とかイベント会場に活用する。 8. 津波の避難の際にはどうやってこの避難ビルに行くのか?そのために材木座海岸から稲村ヶ崎まで134号線に平行して内陸部に高層の歩行者専用道路を造る。(これは10年計画で建造する。) 9. 25階高層ビルには広大な駐車場が必要になる。134号線の下に坂ノ下から稲村ヶ崎までの間に地下駐車場をつくる。 以上が提案です。 資金などの詳細は専門家で検討してください。	
41	12		深沢JR敷地への移転を強く要望します。 先のみえない学校やどこにでもある商業施設、人口を増やそうとするだけのマンション建設を誘致するより、いろんな面で古くなった役所を建てるほうがよっぽど有効利用です。 そして山崎でもめているゴミ処理場も深沢へ バイオマスゴミ処理場にし環境にも配慮しゴミ発電で役所の電力をまかなうようにすれば節税にもなります…。(ランニングコストはわかりません…) で、余白は市民の憩いの場、暗きよになっている川をよみがえらせ、せせらぎに。桜など植樹、あじさい等々季節の草花を植え富士山に見える公園(最近ビルの乱立で富士見スポットが	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>少なくなっている。(2/3読売新聞夕刊) 大地から見える富士山として貴重な場所となり観光客くる) (鎌倉時代の武家の建造物が点在 観光客にきてもらう 環境に配慮したごみ処理と役所で見学客にきてもらう (科学者・経済学者・建築家の知恵をかりて…) →財政がうるおう) こども風土記に深沢・町屋に鉱泉があったと書いてあったので温泉施設 (鉱泉を沸かすのもゴミ電力) 役所はそれじたいが山のように緑でおおわれ断熱効果 そこでくつろげたりする (日本のどこかに有名建築家が作ったビルがある)</p> 	(前ページからの続き)
42	13		<p>場所性、コンテキストの視点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 鎌倉のシティホールとしてのアイデンティティを有する様な相応しい場所にあり、長く培われてきた鎌倉の文化的ブランドを今後100年を超えて継承・発展させる市庁舎でありたい ② 市民や市外からの訪問者の誰もがいつでも気楽に立ち寄ることができ、必要な情報を得ることが出来たり、市民同士のコミュニケーションを誘発するような場に建つ、活気溢れる市庁舎でありたい ③ 世界遺産登録を目指す歴史文化に溢れる都市として、また観光都市として広く世界に発信するイメージを有する市庁舎でありたい ④ そのためには風致地区などの地域地区指定の法令などが弾力的に運用可能であるよう規制緩和や特区の手法を検討されたい。 <p>市民ファーストの視点</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>① 市庁舎の本質的存在意味を議論されたい。既存市庁舎のハードの問題や課題を解決することや、ソフトとしての行政業務の利便性が大前提とされて新築移転という結論が導かれることの無きよう</p> <p>② 整備パターンに関して、種々の評価軸は市民にとっては重要度の係数が異なるため、同列に取り扱い、合計して評価のまとめとすることは再考の余地あり。</p> <p>③ 耐震性、耐久性、防災性、機能性、環境性能は重要だが、いずれも技術的解決は可能。整備にかかるコストや時間の多寡よりも市民ファーストの視点で再整備のプライオリティを志向されたい</p> <p>④ 働き方革命の時代、IoT やAI などの技術導入やロボット化による効率向上、業務改善等をハードソフト両面からの議論対象とされたい。このことは庁舎の必要面積や職員の数の見直しにリンクする。</p> <p>経済性の視点</p> <p>① 整備費用の蓋然性については、行政に関わる他の全ての予算からフィードバックして正当であることの説明責任を果たされたい</p> <p>② 57 ページ以降にも示されているように、民間のノウハウを活用することは今後の市庁舎としてのあり様として重要。機能導入のみならず、PPP、PFI、コンセッションなど運営自体、付加機能についても古都鎌倉をイメージさせる商業や宿泊など従来の概念を超えるような整備の可能性を検討されたい</p> <p>以上</p>	(前ページからの続き)
43	14	49ページ	<p>5 現時点での本庁舎の整備候補地（想定）の抽出 について、素案では</p> <p>(1) 深沢地域整備事業用地</p> <p>(2) 野村総合研究所跡地</p> <p>(3) 現在地</p> <p>の三ヶ所に限定されていますが、私は大船地域を提案致します。</p> <p>その大きな理由は以下の通りです。</p> <p>一、深沢地域整備事業用地は柏尾川に近く、震災時に津波遡上の懸念があること</p> <p>一、野村総合研究所跡地は山上にあり、市民の利便性を損なうこと</p> <p>一、現在地については素案に指摘する通り</p> <p>素案では「大船地域にはスペースがない（要約）」としていますが、以前に大船駅東口の再開発が計画されていた時、5番地（駅前パチンコ屋～吉野家の区画）を高層化し、その中に公共施設を入れる予定が記録にあります。</p> <p>また、鎌倉芸術館を本庁舎として建て替えた上で文化的機能を統合することでも、充分に対応可能と考え、提言します。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			それでもあえて現候補の中から選ぶなら、深沢地域整備事業用地を支持します。 最後に、抽出に際しては地域ごとの公平性の観点から、玉縄、腰越地域についてもご検討あるべきと考えます。 以上、ご参考になりましたら幸いです。	(前ページからの続き)
44	15		<ul style="list-style-type: none"> 勤めを辞めて15年ほどになりますが、それ以降、市役所本庁には、ずいぶん足を運びました。(地域の自治会長として、自治会の運営などのご相談。広町緑地関連の保全・維持管理の打ち合わせ、などなど) 現在地は、来庁者用の駐車場があり、また、徒歩の場合も交通の便に恵まれており、なかなかの場所だと思います。 しかし、この素案が、現在地からの移転立て替えを結論としていることに、賛成いたしません。 ただし、例えば、移転先が深沢地区の場合は、道路事情も含め、現在地のように交通の便に恵まれていないと思います。 他の地区の市民へのサービス機能をどのように確保するか今後の検討を期待しています。例えば、ネットワークの最大限活用などの検討が必要かと愚考します。 	
45	16	46 ページ	方針素案としての、現在地から移転して整備することは時宜を得ていると思う。但し、問題は移転先になるが、候補地として現在の市有地のみを考えているようだが、何故に市有地に拘るのかの理由が余り良く判らない。民間の活力を活用したのならば、もっと積極的に民間地も広範囲に検討すべきであろうし、他の公有地も検討すべきでは？ 貸ビルの場合の3万ヘーベで年間30億円の賃料基準のみの検討は余りにも根拠が弱すぎ、もっと多方面からの情報をとるべきで検討不足としか言いようがない。仕事のやり方の工夫とか無駄を省くことを考え、他庁舎とのスペース等の比較論でなくて独自のもっとスリムな効率的な庁舎を考えるべき。子供だましのお役所都合での場所の着地点を想定した上で結論づけている感は否めない。更に資産として捉えるなら、バランスシートをキチット作成してから資産・負債を明確にして各種方策を考えることが常道の筈だが！	
46	18	P22 P46	<p>現在地建替えの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在地建替えが望ましいが風致地区に合ったものを建てるのは無理がある。 仮移転費用は莫大な費用がかかる <p>深沢国鉄跡地が良いと思う</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害物がないのですぐ建設に取りかかる。 新庁舎完成後に移転すればよい <p>問題は跡地をどのようにするのか。市民にとって有効な使用を充分検討してとりかかってもらいたい。希望として支所を併設してほしい。</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
47	19	47 ページ 50 ページ 57 ページ以降	<p>1. 大船駅東口再開発との生じる問題について (該当ページ) 47 ページ (意見) 大船駅東口再開発するビルの大半が雑居ビルばかりなので、再開発そのものの意味がないように感じる。もちろん、飲食店・不動産店ばかりが入っていて、街に役立つ施設が作れなくて、邪魔をしている。 そこで、これらの店舗ばかりはいつている雑居ビル関連をすべて取り壊し、その代わりに地元で愛されている店舗・商店に関しては、市民に投票してもらい、選ばれた店舗・商店については、認定し、かつ優遇措置として、仮店舗+補償金を提供してもらうことで、大船行政センター統合を含む本庁舎及び大船図書館の用地確保および、再開発事業が加速すると考えられる。もちろん、特定業種の店舗出店規制をかける手もあり。</p> <p>2. 整備候補地について (該当ページ) 50 ページ (意見) ○どの場所も不便さを感じる。特に野村総合研究所跡地は、交通面からしてとても行きづらい場所に過ぎないので、候補からはずすことが最良案だと思う。 手続き申請などで1分でも遅れると、とても厄介に感じる。 もちろん、シャトルバスなどの運行が必要となり、運営面なども生じる。 ○現在の候補案で考えるならば、仕方なくではあるが、深沢地域が最適案だと思う。 深沢の再開発があるがゆえ、深沢行政センターの老朽化・耐震診断による使用不可も考えられるので、現在の候補案として進めていき早急に取り掛かるのなら、深沢地域が仕方なくではなるが、最良だと思う。 ○本来であれば、大船駅東口を候補として入れたほうが良いと思う。 交通面などすべての面において一番利用しやすいだけでなく、大船再開発計画の一環として盛り込むことで市民にも理解得やすい。</p> <p>3. その他 (該当ページ) 57 ページ以降 (意見) ○最近になり、木造での高層建築も認められたので、再整備の際は、積極的に木造建築+免震設計で進めてほしい 鎌倉市のイメージ感である『歴史感漂う=木造建築』をもった本庁舎を建てるとより素敵に感じると思う。 また、空調機器不要レベルまでの空気の通り道を利用した空調設計も併せてセットに入れてお</p>	(前ページからの続き)

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>くことも良い。</p> <p>○鹿児島天文館「マルヤガーデン」のように最低2フロア（できれば各フロア）に市のコミュニティー（NPO法人や民間団体など）が活動できるスペースを設けるとよいと思う。</p> <p>地域コミュニティ活動する参加のきっかけづくり・市の食材（鎌倉の地場野菜・海産物）などの買い物するきっかけとしての役目を果たせる。</p> <p>まずは、飲食店+料理教室で、割り当てで決まった市のコミュニティー（NPO法人や民間団体など）が日替わりで担当・提供していくところから始めると面白いかも。</p>	(前ページからの続き)
48	21		<p>職員が安心して働けるよう、一日も早く新庁舎を深沢地域国鉄跡地周辺拠点に移し、開設するよう求めます。それがひいては市民サービスの向上、充実につながるからです。すぐにでも決断し、移転計画を実行に移すようお願いしてやみません。</p>	
49	23	<p>46 頁 図表 2-17</p> <p>32 頁 図表 2-6</p>	<p>本素案によれば本庁舎の整備方針として、深沢地域への移転が最有力視されています。これを前提に意見を述べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東海道本線新駅の実現に向けて、強力に取り組んで貰いたい。その成否が今後、鎌倉100年の計の明暗を分けるでしょう。 <p>《理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モノレールの平時における輸送力は弱いです。アップダウン、急勾配がり条件が厳しいです。 ・ JRに比べて会社の経営規模に格段の開きがあります。 ・ モノレールは地震に対して極めて脆弱です。 ・ 新庁舎が耐震性に優れていても、新庁舎に繋がる輸送路が確保されなければ、陸の孤島になり、鎌倉全市の復旧・復興、及び市民生活に支障をきたします。 <p>《運賃比較》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 大船～鎌倉 片道 160円 ・ モノレール 大船～湘南深沢 片道 220円 	
50	25	<p>P36</p> <p>P36</p> <p>P36</p> <p>P48</p>	<p>深沢の予定地はモノレールがあり、交通の利便性が○で、現敷地は△となっているが、モノレールの乗降客や運搬能力から考えると必ずしもそのような判定にならないのではないかと。また、モノレールの階段は狭いしEVがない駅も多い。</p> <p>深沢地区の交通渋滞等の想定及び、現状の調査報告を行わずこのような判断は早すぎるのではないかと。行っているのであれば、素案に盛り込むべきではないかと。</p> <p>鎌倉駅からのアクセスが悪くなるが、どのように考えているのか。JR東海道線の新駅を踏まえこのような計画がされたのか。</p> <p>鎌倉市の市民病院がないため、現在藤沢市民病院か湘南鎌倉に救急医搬送されているが、庁舎決</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>定とともに市民病院建設が必要でないか。特に鎌倉駅周辺に必要であるため公共施設再編に盛り込むべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ焼却場との位置関係はどのようになっているのか。 ・敷地の土壌汚染は無いのか。処理されたとするならばその結果を提示するべきではないか。 <p>処理費用が発生する場合、用地取得前に処理済みの土地を取得すべきではないか。</p>	(前ページからの続き)
51	26		<ul style="list-style-type: none"> ・移転整備方針については賛成する。 ・交通渋滞解消を目指す市政方針を踏まえると、移転整備候補地として挙げられる野村総研跡地並びに深沢再開発事業地域については、既存の公共交通網も十分でなく自動車での来訪が避けられない野村総研跡地は難しく、深沢地域再開発事業用地に移転整備することが望ましいと考えている。 ・深沢地域に移転するにあたっては、アクセス性向上のため旧鎌倉地域と深沢地域を結び、かつ定時性の確保できる交通機関を整備することが望ましい。短期的に整備可能な高度化バス等の整備を検討すること。 ・深沢地域における主要な公共交通機関である湘南モノレール湘南深沢駅も今後バリアフリー化が予定されていると聞いている。本庁舎の深沢地域移転整備の暁には、交通渋滞解消に向けた公共交通利用促進の政策推進の観点から、最寄り駅舎並びに同時に整備が予定される交通広場（路線バスターミナル）から天候にも左右されず、なおかつ障害者や高齢者であっても容易に徒歩でアクセスできるよう交通広場に接続した上屋等もしくは連絡通路の整備等を図ること。 ・深沢地域への移転整備にあたっては距離が遠くなる市民の来訪に対し容易に環境負荷の低い交通手段を選択できるようソーラーサイクルステーション等の電動アシスト自転車充電設備も併せて整備するよう検討すること。 	
52	27		<ul style="list-style-type: none"> ・子供～大人まで集まれる場所！ ・赤ちゃん教室、乳児健診、育児相談など、妊婦から出産・育児に関する子育て包括支援センター作ってください！。子育てが楽しく、ママが生き生きしていかなくては、今後の鎌倉も終わりです！。できたら、助産師在所の産後ケアルームもあったらいいな。と思います。 ・こども食堂、学習支援などもリンクさせていただきたい。 ・駐車場の形式（タイムズ利用、立体駐車場etc） 	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
53	28	P48 下部 P50上部 P53下部	<p>③を読み展開した代案を次ページに記します。</p> <p>ヘリポート作りも次の代案に入れられると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代案 「御成小・第一小を子供の命を守る案で、市庁舎を展開する案」です ・中味 <p>全体としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○深沢地区に「御成小」と「第一小」学校を移転する。理由は、子供の命を無視せず命を守るため。 ○市庁舎の一部は深沢に移すものの、ほぼ全ては御成小と第一小および今の市庁舎のところに各施設を作る <p>※深沢への小学生移動は、スクールバスで子供を朝夕、月～金（土）運ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各中学は山の上部であり、小学のみ動かす ○市庁舎は市の中心よりほぼ動かず中心地にいる。 ○ふたつの小学校の空地を利用し、市庁舎の移転、改築等の案を自由に作れる ○ついては、深沢に「御成小」を動かすのがはじめで、その後、第一小の移動、これと同時に市の各施設を移転、新築、改築を徐々に進められる <p>※ついては、3年、5年と時間を使いつつ、子供を命を大切にす市の大事な問題をひとつ解決出来ると思う。</p> <p>※小学校のこの2校は災害時の移動に問題があったと思う。この解決策で対応。また、2校を先々に深沢で合併することで1校となり、行政上のリストラが出来、経費上もスクールバスを使っても、人の給与を考えると安くすむと考えます。</p>	(前ページからの続き)
54	29	P56	<ul style="list-style-type: none"> ・市民サービス機能等について、子育て支援包括センターのようなものを作ってほしい！！ ・本庁舎を新しく整備される際に、母子保健に関する届出をする部署を一つにして、市民が利用しやすくしてほしい（横須賀市のはぐくみかん参考） ・妊婦・乳幼児が気軽に集える場をつくってほしい。できれば、産後ケアが受けられる施設を併設してほしい ・市民（及び市職員）が話し合い等で使える会議室をいくつか作ってほしい ・乳幼児健診のできる保健センターを併設してほしい。保健師さんたちが、車の手配、場所の手配、荷物の手配など、毎度行わねばならず、予定表などを組むのにもとても無駄なことが多す 	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>ぎる。人件費かさみすぎ。 ・駐車場も立体で沢山とめられるようにしてほしい</p>	(前ページからの続き)
55	31	p. 53	<p>資料では結論として深沢の旧国鉄跡地に新設する案になっている。更地につくるのだから何の困難もない。それならば、ゴミ焼却場も併設してはどうですか。いずれも 50 年に一度の大プロジェクトである。担当部門が異なるのでそういう発想は困難であろうが、こういうことこそ市長の出番である。</p>	
56	32		<p>本庁舎は深沢に移転し、行政機能の殆どを入れた方が良くと思います。理由は、交通の要衝である大船と、それぞれの住宅地を結ぶ所にあるからです。非常時にも動き易いと思います。そして、もう一度深沢の再開発計画を考え直しましょう。あの計画では、大きな特徴の無い町になってしまいそうです。個性のある町にしてください。</p> <p>次に建物についてです。まず、市役所が安全な建物であってほしいです。そして、庁舎などの公共的な建物は堂々とあるべきです。理由は、鎌倉市の威厳を示し、尚且つ、市民が誇れる建物にする必要があるからです。多くの人が見る建物ですので、美しくれば市の印象を変えるでしょう。最近では、美しく堂々とした建物が減ってきているように感じます。町の景色が立派になれば、人の心が豊かになるかもしれません。観光客に来てもらえるかもしれません。建物を機能性のみで飾りも何も施さずに建ててしまつては非常に勿体無いと感じます。</p> <p>詳しくは左右対称で窓を並べ、美しい装飾を施し、とても立派な外観としてほしいです。室内の照明や様々な装備も凝って、創作、注文をし、他とは違った個性溢れる庁舎が良いと思います。全体的に復古調の趣ある建物にして欲しいです。観光都市の鎌倉ですから、美意識に満ちた本庁舎を建てた方が良くと思います。</p>	
57	33		<p>本庁舎の「移転して整備」へ についてのパブリックコメント</p> <p>この話を突然の様に聞いてびっくりしました。現市庁舎は鎌倉駅に近く便利で、中心部にあり、建物のデザインも箱物的ではあるが、風格のあるよい物だと思い、親しんで来ました。それが「移転・整備」となると、ちょっと待てよと思います。</p> <p>1. 老朽化・狭あい化について</p> <p>69年竣工ですから約48年たつわけで、当時のままでは手狭で設備も直したいところでしょう。しかし欧米では百年、二百年と続いて風格を増して行く市庁舎は親しまれ、観客にも喜ばれ、町のランドマークとなっています。現庁舎は耐震工事がされているので、地震の際、多少、津波が来ても大きな被害は受けないでしょう。市庁舎とならなくなつても、市の施設として残しておくべきです。</p> <p>2. 移転して整備するなら</p> <p>「現在の市有地」の中では、近隣に学校跡地が生じるならそこが良いが、無理なら JR 大船工場の跡地が良いと思います。野村総研跡地は現在のままなら、交通の便が悪く、高さ（標高）があ</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			りすぎます。 JR 跡地の場合、村岡新駅をつくり、そのそばということになるでしょう。その際は、総合開発として市民広場（避難施設として使える）、関連行政施設、運動・レクリエーション施設、老人施設、ゴミ処理・給湯施設、ゆとりある住宅、緑地帯などを設ける総合開発とすべきだと思います。	(前ページからの続き)
58	34		<p>1. 移転場所と工事等</p> <p>①大船本村 多開院・大船町内会館・熊野神社を右手に見て、今泉に抜ける小さなトンネルと少し長いトンネルの間の右手に「天ヶ谷戸遊水池」のすぐ下。</p> <p>②市民農園が中央にあり、今泉岩瀬方面に沿って左・右・奥に山林がある。明細地図によると「大船谷之前緑地」と称する場所。</p> <p>③市民農園より岩瀬に向って、左側正面。右側と山林。左側の山林を崩し、右側は今泉側のトンネルの出口あたりまで山林を崩し、正面の山林を整理する。</p> <p>④昔は「かんがい用水」であったが、今は不用の天ヶ谷戸遊水池は埋めて、駐車場とする。</p> <p>⑤左にある墓地の一角は残し、左側の山林の削った土を市民農園等に埋り上げて整地する。</p> <p>⑥「大船谷之前緑地」は今泉・岩瀬に接し、整理の仕方によっては広大な平地を確保できる。(現市役所敷地の3～4倍か) 岩瀬の「内耕地」を含める方策もあり。</p> <p>2. 交通の問題</p> <p>湘南鎌倉病院が大船駅東口より専用バスを平日出しているが、同様の方法で大船駅より15分毎に出せば不便でなくなる。</p> <p>3. 明細地図 P187 と P203 を添付するので参照下さい。</p> <p>4. 高い場所であり、更に埋り土すれば尚良し。津波・防災の心配なし。</p> <p>5. 富士山も見え、眺望よし</p>	
59	36		<p>新しい庁舎が必要なことは理解できますが、総合的に考えて頂きたいと思います。</p> <p>鎌倉市の新ごみ焼却施設に関して、山崎浄化センター未活用地が建設予定候補地になっていますが、地域住民は反対しています。</p> <p>新しい庁舎が近隣にできる市民は喜ぶでしょうが、一方で迷惑施設をまた建設されようとしている 困っている市民もいるのです。</p> <p>新本庁舎をつくるなら、是非新ごみ焼却施設も併設するような方向で検討して頂きたいと思います。</p> <p>同じ市民として、迷惑施設ばかりを押し付けられるのは不公平としか思えません。</p> <p>ゴミ焼却施設を迷惑施設ではないと市の方々はおっしゃっているようですが、なおさらのこと市</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			庁舎と併設しても問題ないのでは？	(前ページからの続き)
60	37	p. 46 p. 49 p. 58～ p. 59	<p>移転先が選定された際には当該の土壌の汚染については念入りな調査をお願いします。移転先では現状と同程度の駐車場の確保などの交通アクセスについても充分検討願います。</p> <p>鎌倉市議会も併せて移転されると考えますのでその図書館、中央図書館や鎌倉文学館も今回の移転先に集約頂き鎌倉文士研究のメッカを目指せるような大きな構想を描いて公共施設の再編を検討願います。</p> <p>公的不動産の活用に PFI、PPP 方式を検討されているようですがパブリックコメントを活用いただき住民の意思との齟齬がないようにお願いします。また、業者選定では競争入札を実施願います。</p>	
61	38		<p>愈々市役所本庁舎建設の話題が本格化した事、結構に思います。</p> <p>建設候補地が云々されて居りますが、市民の一人として願わくば、現在地がやはり理想かと思えます。しかし、水害時等々考慮すれば御成では無理がある様なので、他を考えざるを得ないのかなと思います。</p> <p>候補地として野村総研跡地、JR 大船工場のあった深沢地域等が挙げられている様ですが、野村総研跡地は先ず除外すべきでしょう。足場（アクセス）が悪すぎます。</p> <p>第一候補地は深沢になると思致します。</p> <p>現在の予定について伝聞によれば、体育館と消防本部のみが（公共施設として）決定している様ですので、本庁舎を加えた総合庁舎として立派な建物を考えて下さい。大いに期待して居ります。</p> <p>本市は総合運動場も無く、他市に出向いている状況にあります。</p> <p>人口増を考えたマンション群も結構ですが、大鎌倉としての市民の潤い場としてのグラウンドの一つや二つは当然あるべきと思います。</p> <p>深沢の土地は JR が多く所有している様ですが、市民に呼び（買取り）かけ、寄附を募っては如何ですか。鎌倉に残された最後の貴重な土地です。</p>	
62	39		<p>野村総研跡地に、市庁舎移転と合わせて税収が見込める、武家の古都・鎌倉ミュージアム、漫画レガシーミュージアムの設立案です。鎌倉は、連載漫画が始まった「江の島鎌倉長短旅行」の始まりの土地です。</p> <p>ご検討頂ければ幸いです。</p>	
63	42	p. 47	<p>大船駅東口開発は鎌倉市としては完全にストップして開発事業に取り組んでいないのに取り組んでいるとあるのはおかしい。</p> <p>大船周辺に庁舎をつくるのに一番のネックは十分な床面積を確保するためのコスト面とあるが、これは大船駅東口開発事業を再開させて PFI 活用、つまり民間活用のさまざまな側面からコストダウン図れないか研究をすべきだと思う。</p> <p>鎌倉市の人口増減の推移からみて将来は大船地域が鎌倉地域と同じかそれ以上の人口を擁する</p>	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			<p>のは時間の問題であり、深沢駅を利用する人口と大船駅を利用する人口とどちらか多いのか、さらには昼間人口がおおいはどちらか、をみれば利便性の上で本庁舎が大船駅直近に作られるのが最も市民にとって都合良いと考えられる。</p> <p>繰り返しになるが、コスト面だけを考えるならPFI活用など様々な角度から研究すべきである。BTO / BOT / BOO / RO など様々な方式があり、全国の事例とも合わせて何がベストなのかを考えてみる必要があると思う。</p> <p>本庁舎とは直接関係ないのですが、行政施設は大船。防災、スポーツ施設は深沢でよいと思う。深沢は防災公園にして防災、スポーツ施設、健康増進施設、簡易宿泊所、青少年の宿、などもうけて、普段は健康、憩いの場所、外部からの文化研修施設、いざという時には防災施設として十分な機能を果たせるようにすればいいです。</p>	(前ページからの続き)
64	43	p. 38 p. 40～	<p>現本所地跡地に鎌倉地区の支所並びきなら鎌倉（仮地返却、これに依り借地料がなくなる）並び図書館を設ける。なお新たに建築するなら賃貸事務所又は賃貸マンション部分を設け 収入面を考えてみては？</p> <p>鎌倉市の新庁舎建て替えは時間と経費並び防災面等総合的からみて深沢国鉄跡地を利用することを望む。これによって深沢支所機能は廃止、新たに現本所地に鎌倉地区に支所機能を設けると共になおこの鎌倉地区支所は現本所の一部再利用する。</p>	
65	47		<ul style="list-style-type: none"> ・万が一の災害時に津波などで混乱し、機能するか分からない場所で大船、玉縄、深沢の者を救えるのか。是非、安全に防災に対応できる場所へ早期に移転してほしい。 ・移転先は大船か深沢がよい。移転先もあわせて示すべき。深沢国鉄跡地ならば、本庁舎中心に国鉄跡地利用を見直してはどうか。豊島区のように本庁舎（建物中心、建物ありき）で開発する方が、事業が進むのでは。駅直結の建物など、モノレールと連携した開発もできるし、モノレールもますます活用されるのでは。 ・新しい本庁舎や現在の本庁舎の土地活用に、早期にコンペで優秀な建築家やデザイナーを選び、新しい街づくりの目玉になる鎌倉をアピールする施設にしてほしい。新しい市役所は、国際コンペも可能と思う。鎌倉だからできると思う。公園・体育館とあわせてまち全体を同じ開発者・デザイナーに一騎に任せるのがよい。現在の場所は、コストを掛けず現在の建物をリフオー姆し、出店者を募る活用など、アイデア勝負のコンペで面白い活用をしてはどうか。こちらは流行りのDIYのような若い視点で進めては。 	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
66	50	p. 42～ p. 43 p. 50～ p. 51	この表を見る限り、移転という整備が良いと思われます。 図 2-22 で見ると深沢地域の評価が高いようですが、この地区は液状化の可能性が高いことが不安です。現地は柏尾川のほとりにあって、もともと水田地帯であったため、液状化する恐れがあります。災害対策の拠点と設定するならば危険ではないでしょうか。 野村跡地はその点で災害には強く、予想される関東地方の地震津波などの際、拠点として頼れる立地ではないでしょうか。 市民が利用するアクセスかやや不便かと思いますが、それは対応により便化できるものと考えます。	(前ページからの続き)
67	51		2017年H29年2月10日号タウンニュースで本庁舎移転して整備へ、内容、内訳を知る。候補地、JR 深沢国鉄跡地及び野村総合研究所跡地など挙げている。これからも何度か使用することも有るかと思うと深沢国鉄跡地は適していると思う。 市所有の土地も3ヵ所有り、本庁舎も約800人位職員がいると聞いている。絶えず市民が出入りする施設でも有る。私達の所は焼却所の建設候補地で、非常に頭をいためている。ぜひ、焼却所の建設及び複合施設と一緒に作り、深沢整備事業町づくりを願う。鎌倉市エネルギー基本計画H26年3月から3年後、29年3月末までに見直しすると記入されているので、今年が市民の知ってもらおうチャンスと思う。市長も、これからは電気にたよるのではなく、ゴミをもして効率発電をしなければと言っているの、よいきかいと思う。市民の税金使用も目でわかるような形ができ、鎌倉市17万3000人の人達が納得すると思う。浄化場未利用地はひなん場所及び消防本庁舎をもって来てもらいたい	
68	1	p. 1, p. 2, p. 39, p. 42, p. 43	予算の妥当性と、新庁舎の耐用年数について。 「現地在建替え」、「現地在長寿命化」、「その他の用地への移転」のいずれの方式を取るにしても、予算と想定される耐用年数が記されていないので評価ができない。 「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない。」(p. 1)とあるものの、新庁舎建設にどれだけのコストをかけて、その建物を何年維持するのかが分からず、「次世代」への負担がどれだけのなのか予測できない。 費用を公債などで賄う必要があるのか？何年かけて返済するのか？それにより、優先順位が下がる事業はないのか？大規模修繕や補修などの維持コストはどのくらいかかるのか？また、何年後に再度取り壊して新庁舎に建て替えを行うのか？など、将来の負担を予測するための根拠が欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費、建物解体費、仮庁舎整備に要するコストについて、現時点の想定で算出し、掲載していますが、財源の確保や財政負担の影響については、補助金等の活用や民間活用の可能性を探りながら検討を進めます。 ・新たな本庁舎については、整備後も適切なメンテナンスを行うことで、長く活用できる施設として計画するほか、将来の人口動向、行政需要や権限移譲による業務・組織が置かれる状況
69	25	P59	豊島区の事業を参考事例として載せているが、豊島区の場合、建設費をまかなうスキームを定期借地権料を生み出し区民の負担が極めて少ない方法で行っているが、現在の素案ではそこまでの案とはなされておらず、市民負担が2つの建物を整備することにより増すと考えられる	

整理 No	提出 No	原文		市の考え方
		ページ	意見	
			が、事例として不適切でないか。もしくはそこまでの採算性を考えた素案であるのか。また、行政機能を全て移すほうが市民の負担は増えないのではないか。資金のシュミレーションがすごく曖昧である。190億の費用をどのようにまかなうのか。説明をすべきではないか。	による必要な庁舎面積の変動への対応について「レイアウトに自由度を持たせる」、「他の機能を入れていく」といった、柔軟に対応できる計画としていくなど、今後の取組の中で検討していきます。
70	50	p. 52, p. 58, p. 59 など	民間活力を導入する方法がより良いものとされていますが、民間は利益を上げるために仕事をするとおりであり、市が市民のために市民の出した税を使って仕事をするとおりではありません。ほんとうにそれが市民のためになるかどうかは疑わしいものです。支所や公共施設の再編も市民にとっては不便が増し、反対です。	
71	35		<p>本庁舎の再編との事ですが、そもそも市役所は、不要だと思います。</p> <p>業務期間に机に突っ伏して居眠りをしている職員、枝毛の処理をしている職員、電話で年末年始のお休みを聞いても確認しないと答えられない職員、一体どのような教育をしているのでしょうか？また、私達の血税が給料になっていると言う自覚はあるのですか？</p> <p>この際、本当にその自覚があり、しっかり仕事を出来る職員だけにするスリム化を計る絶好の機会だと思います。</p> <p>市役所の業務は、それぞれの支所に移管し、市役所がなくなると不便な鎌倉地区の方々のために、一つ支所を作れば、緩費も削減になります。新しく作る支所は、鎌倉市が先ごろ、歴史遺産の為に購入した扇ヶ谷の土地を利用すれば、良いと思います。現在の市役所は、更地にし、鎌倉市の中心部に少ない駐車場にすれば、良いと思います。</p> <p>追伸：最近、不祥事が多すぎます。前述のように自覚に欠けているからだだと思います。</p> <p>セクハラ問題では、プライバシーの観点から詳細は明らかになっていませんが、加害者が、市民にセクハラをする可能性が大きいのではないですか？</p> <p>毎月の不祥事等ホワイトボード等に記載し、市民に公開すべきです。</p> <p>特に、セクハラについては、加害者の担当部署、氏名も公開すべきです。</p> <p>女性としては、いつセクハラされるのか怖いからです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> このようなご指摘を受けられないよう、市民の方々の信頼に応えられるよう行動してまいります。